



中能登町杉谷チャノバタケ遺跡出土
『チマキ状炭化米塊』展示中

出土翌月(昭和62(1987)年12月)の報道発表以来
「**日本最古のおにぎり**」として話題を集め、
発掘以来38年を経た現在も、お米を加工・調理された
ものとして、日本最古の出土品を期間限定展示。

たん か まい かい
『チマキ状炭化米塊』とは

- ・昭和62年11月20日、鹿島郡中能登町(旧鹿西町)に所在する杉谷チャノバタケ遺跡から、弥生時代中期(約2,000年前)の竪穴建物(住居跡)の壁際より出土したもの。
- ・底辺が約5cm、他の2辺が約8.0cm、約8.5cmの平面略二等辺三角形を呈する炭化米塊(厚さ約3.5cm)。米粒の解析により、短粒・極小粒の日本型を呈する水稻品種の晩稲の糯米(もちごめ)で、おそらく蒸されたのち何らかの事情で焼かれたものとされる。
- ・形状等からも、炊かれて握られた握り飯(=おにぎり)というよりは、包まれて蒸された(あるいは煮られた)ものに近いという意味でチマキ(粽)状炭化米塊とされた。

展示室

＊ 弥生コーナー ＊

2階

写真撮影可

OK!

入館無料

期間限定

6/22まで

※チマキ状炭化米塊が紹介されました
(令和6年度)

- 新聞 ・朝日新聞 土曜版be 2025.3.22掲載
雑誌 ・『モノ・マガジン』No944 2024.9.16発行
テレビ ・フジテレビ『Live News α』 2024.6.18 O.A.
・NHK Eテレ『出川哲郎のクイズほお〜スクール』 2024.9.23 O.A.
・NHK『午後LIVE ニュースーン』 2024.10.21 O.A.

石川県埋蔵文化財センター
WWW.ishikawa-maibun.jp

